

あなたのお店を拝見

果樹専門に徹する

地場産業の発展、農家と共存共栄のために

有限会社外川農機商会

その287

地域農業の特性を踏まえ果樹農家向け農機に特化し、今も成長発展を続ける、有限会社外川農機商会(青森県北津軽郡板柳町福野田字実田18-14 代表取締役社長 外川 輝和氏)を訪ねた。



社長外川輝和氏



外川農機商会

JR弘前駅から車で約30分、JR五能線、板柳駅からは徒歩4分、国道339号線沿いに有限会社外川農機商会(代表取締役社長 外川輝和氏)があります。現社長の外川輝和氏は3代目にあたり祖父の外川鶴吉氏が大阪の機械店で働き、機械の勉強をした後、昭和16

年地元に戻り農業の機械化に貢献するために農機店を創業しました。当時周辺は水稲栽培とリンゴ栽培が盛んな地域でしたが、水稲とリンゴは作業が重なる時期があり、農家に迷惑をかける恐れがあること、またリンゴと水稲ともほぼ同じ栽培面積があったことから、果樹関係の機械専門で経営していくことは可能と判断しました。その後、防除作業等は集団化の方向に進んだことから、外川商会

は定地配管防除の研究を行い、昭和28年に有光工業の定地配管防除施設を青森県で一番早く設置。どこよりも早く設置したことから、多くの引き合いがあり、売上を伸ばし会社は急速に発展することになりました。しかし定置式の防除作業は平地では容易だが、傾斜地の作業に難があり、他の方法を模索しました。やがては自走式の時代がくること、スピードスプレーヤーが最適との結論に至りました。そして、より車高が低くリンゴ栽培に使えるスピードスプレーヤーを求め全国各地を回り、昭和38年、同じリンゴ産地で知られる長野県で探し当てたのが、ショーシンのスピードスプレーヤーでした。以後、ショーシンのスピードスプレーヤーを中心に扱うことになりました。販売を始めた当初、



ショーシンSS展示車

学卒業後、約3年ショーシンで整備、営業、組立まで一通りの仕事を覚え、平成4年外川農機商会に入社しました。その後、外川農機商会で仕事をしながら、農業機械整備技能士の資格は持っていた。しかし試験に「それならうちの会社にくればいい」と言われ、その時、進路が決まりました。そして大

日本一優秀な社員がいる。迷いのない心が新事業を呼び込む!!

外川社長に自社の魅力を伺うと、「スピードスプレーヤーをメインにしているから面白い」と話されていました。スピードスプレーヤーの試運転、修理、散布、整備と1年を通して繁忙期が続いている状況で社員10名がフル稼働で対応しています。「スピードスプレーヤーの整備や知識については自社の社員以上に優秀な人はいない」と話されていました。社長の信頼に、社員も士気があふれています。社員のモチベーションを高めるために、外川社長は「社員は宝、だから大切にしたい」と話されています。その中で社長としての役割は、「会社が進むべき道を自ら切り拓くこと」と話されています。「社員は宝、だから大切にしたい」と話されています。その高い能力・見識を評価されたもので、今後の果樹農家減少への



整備工場

「大切なことは、皆が笑って過ごせること」その実現のため、外川社長はスピードスプレーヤーを軸として主に2つの新規事業の展開を進めています。その1つが、無人ヘリによる薬剤散布等を行っている会社から、スピードスプレーヤーによる薬剤散布の業務委託。これは、果樹関係機械専門店として農家から長年信頼を受けていること、防除についての高見識を評価されたもので、今後の果樹農家減少への

対応等を考えた時、この話を受ける価値があると判断、今年から薬剤散布についての業務を受け行っています。2つ目は、昨年韓国で見つけたスピードスプレーヤーに取り付ける花粉噴射機の日本総代理店となったこと。この機械はあらゆる果樹に対応可能で、作業効率の向上が期待できることとです。今年3月から青森の試験場で効果についての実証データを取っているところで、データがまとまったところで本格的な販売に乗り出す予定です。普及するかは、これからのことですが、リンゴ農家にとっては、1haあたり、人口交配機で平均6・6人、延19・8時間要していた作業を、1人、約1時間でできるそうです。作業負担の軽減だけでなく、余裕をもって次の作業にとりかかるともできるなど、そのメリットは大きいと思われる。韓国では実績がある

花粉噴射機 GKJ-6

フルーツパウダー

作業効率ガンとアップ!!!
あらゆる果樹に使用可能!!!

¥145,000+税

花粉噴射機 (GKJ-6) と《噴霧・人工交配機》との比較

作業効率	花粉噴射機 (GKJ-6)	《噴霧・人工交配機》
作業効率	1ヘクタールに10名(1日)で作業可能	1ヘクタールに10名(1日)で作業可能
作業効率	1ヘクタールに10名(1日)で作業可能	1ヘクタールに10名(1日)で作業可能
作業効率	1ヘクタールに10名(1日)で作業可能	1ヘクタールに10名(1日)で作業可能

南外川農機商会
青森県北津軽郡板柳町福野田字実田18-14 TEL:01727-4001 FAX:01727-1129

外川社長は40代の若手と言える経営者ですが、地元商工会や団体等で要職につき、真に地元の発展に尽力されています。また東京等で行われる展示会にも積極的に通われ農家の役に立つ情報収集を行っています。地元

今後の展開を考えたとき、「農家数も減少し栽培面積も減少する中、危機感を持っていて、しかし農業や肥料等を扱うには人手も足りないし、スピードスプレーヤーの対応がおろそかになってはいけません。スピードスプレーヤーに専念し、そこから発展していく術を考えていくことが大事」と話されていました。

「この『日常の五心』は、たとえ他社で購入し修理が難しいと言われた機械の修理依頼があった時でも、自社で機械を購入されたお客様と区別することなく接し、そして難しい修理にも対応できる高い技術力を持つて対応すること、お客様の厚い信頼を得てきたことに繋がっています。また、その信頼は地場産業の発展、さらには農家との共存共栄に努めていくことに繋がっています。」